

◎ 七かふ

議会広報

令和元年6月発行



初議会後 議場にて

No.
158

- 第2回 臨時会
各議員の紹介と抱負
委員会構成
村長の行政報告

初議会特別号



おお たに もと え
大谷元江
(議席番号：1番 副議長)

年 齢 66 歳
当選回数 2 回
住 所 占 冠
職 業 無 職

村民の皆様のご支援をいただき、再度4年間の議会活動をさせて戴くことになりました。占冠村に「生まれて良かった」「育って良かった」「住んでいて良かった」と思える村づくりを目指して努力してまいりますのでご指導宜しくお願いいたします。

今後4年間の私の目標です。

1. 子育て支援の充実。給食費の無償化等
2. 暮らしと福祉の充実。住民同士の支合い支援
3. 防災対策と交通安全。避難路・通学路の確保
4. 移住・定住と地域づくり。住宅確保で地域づくり
5. 多様性の条例化。性別・障がい等々誰もが尊重し合える村づくり
6. 戦争のない社会の実現。憲法9条改正の反対



あい かわ しげ はる
相川繁治
(議席番号：8番 議長)

年 齢 81 歳
当選回数 8 回
住 所 中 央
職 業 無 職

年号も新たに、令和スタートの年に無投票とは申せ、村民皆様の負託を受け、この4年間議決機関としてその役割をしっかりと果たす所存です。

昨年の胆振東部地震をはじめ、大規模な災害が全国各地で頻発している中、占冠村においては、昭和37年の大水害から57年が過ぎようとしています。

今期私の重点目標・国道237号金山トンネルをはじめ危険個所の改善、千歳橋歩道の安全対策。・道の駅周辺再整備、地場産品等の直売所新設。・避難路の現道改良計画と早期着工。・CS議会の継続と教育子育て支援と医療、福祉の充実。に全力で取り組んでまいります。村民皆様と共に安心して住んでいて良かったと思える村づくりのため精一杯邁進いたします。

(名前・議席番号・年齢・当選回数・住所・職業)



いがらし まさ お
五十嵐正雄
(議席番号：3番)

年 齢 72 歳
当選回数 3 回
住 所 中 央
職 業 無 職

このたびの村議会議員選挙で3度目の当選をさせていただきました。誠にありがとうございました。今後4年間も「憲法を暮らしと自治に生かそう」を基本理念として、以下の課題を中心にして議会内外で活動していきます。

- 一、憲法9条を守り、戦争のない社会の実現
 - 一、脱原発・自然エネルギーの推進
 - 一、森林・林業・林産業の振興
 - 一、農畜産業の振興（小規模農家の育成）
 - 一、医療・福祉の充実
 - 一、学校教育・社会教育の充実
 - 一、観光・商工の振興
 - 一、集落対策の充実（占冠地区）
- 以上の課題を具体的に取り組みます。

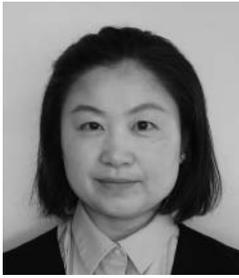


ふじ おか よし つぐ
藤岡幸次
(議席番号：2番)

年 齢 62 歳
当選回数 1 回
住 所 双 珠 別
職 業 農 業

占冠村のかかえる様々な課題に向き合い、力強く勇気と信念を持って一人一人の声を活かして元気な村づくりにつとめます。

- 明るく楽しく活力あふれる村づくり
 - ・気持ちよく楽しく働ける農業と林業
 - ・魅力あふれる食の推進
 - ・文化とスポーツの振興
- 住みよい安全な環境で安心な暮らし
 - ・災害に強い地域社会
 - ・交通の利便性維持向上
 - ・環境設備の整備
- 未来へむけて
 - ・大人が自信を持って子供達を育てる社会
 - ・占冠村の未来をにやう人づくり



しも かわ その こ
下川園子
(議席番号：5番)

年 齢 42 歳
当選回数 1 回
住 所 上トмам
職 業 無 職

私は、みなさまの想いを届けたい。みなさまと村政をつなぐ架け橋になりたいと思っています。

日常から生まれる声には、地域を元気に、移住定住、子育てのしやすい環境づくりなど、たくさんのヒントが詰まっています。

しかし、日常の声は届かない・届けていないことが多く、その気持ちを提案という形に変え届けることが必要だと感じています。

ひとりひとりの声に寄り添い、みなさまにとって安心して生活・将来設計のできる村づくりを提言していきたいです。



やま もと けい すけ
山本敬介
(議席番号：4番)

年 齢 52 歳
当選回数 3 回
住 所 占冠
職 業 会社役員

私は、村民一人ひとりが自然に囲まれた日々の暮らしを幸せに感じ、占冠村民であることが誇りに思えるような、自治や教育の形を、議会活動を通じて作っていきたくと考えています。そのためにも小さな村だからこそできる、住民とのコミュニケーションを大切にし、心の通った行政サービスをひとつずつ実現していきます。

現在、大きな課題と捉えているのは、「トмам地域の定住対策」「一般ごみの有料化問題」「観光の経済循環を商工業や農林業に」です。また、将来的な目標として「アспен環境研究センター占冠版」の設立（環境教育の体系化）を目指したいと考えています。

具体的な政策の詳細は、私のホームページにも掲載しています。(www.yamamoto-keisuke.com/)

各議員の紹介と抱負



こ だま ま すみ
児玉真澄
(議席番号：7番)

年 齢 69 歳
当選回数 1 回
住 所 中 央
職 業 無 職

私は今回の選挙への立候補にあたり、「真っすぐに澄み切った未来（明日）へ全力」というキャッチフレーズを掲げさせて頂きました。

これはまさに村の近未来に一点の曇りも残してはならないという今を生きる私自身への戒めを込めた言葉であります。その為には広く村民の皆様の声を聞き、いかに村政に反映させるか、又、多岐に亘る行財政運営に歪みが生じた場合は即座に是正を求めていく必要があります。

現在の地方行政には民間企業の感覚が強く求められており、私は民間企業出身でありますので、企業感覚で行政を見直し、地域の「稼ぐ力」を引き出し、将来に向けて「勢いのある占冠村」創生を目指して、まずは「今できること」から取り組んでまいりたいと考えます。



こ ばやし じゅん
小林潤
(議席番号：6番)

年 齢 63 歳
当選回数 1 回
住 所 中 央
職 業 無 職

私は、役場勤務40年の行政経験を活かし、「占冠村むらびと条例」を基本とし村民の皆様が「この村に住んでいて良かった」「住み続けたい」と実感できる、活力ある村づくりを目指します。

村の直近の現状として、高齢者の在宅福祉、森林資源を活用した事業の推進、防災・減災対策、人口減少に対応する移住・定住対策は、一定の成果は出ているとの認識ですが、他にも充実させなければならない課題があると考えております。

そのため、村政の主権者である村民皆様の声を大切にし、次の事項を基本姿勢に掲げ努力します。

1. 高齢者が安心して暮らせる社会福祉の充実
1. 農業・林業・観光の振興及び雇用の創出
1. 将来を担う子どもたちの教育環境の充実
1. 安心・安全な生活環境の整備

